

(様式 1)

令和6年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県教育文化会館 文化振興室文化政策課

2 施設所在地
富山市舟橋北町7-1

3 施設設置年度
昭和49 年度

4 設置目的
県民の教育及び文化の向上を図ることを目的とする。

5 施設概要
①建物の構造 鉄筋コンクリート造(地下1階地上5階塔屋1階)
②敷地面積 3,242.51㎡
③建物面積 5,880.21㎡(地下407.24㎡、1階1,576.05㎡、2階1,696.82㎡、3階942.16㎡、4階628.95㎡、5階593.57㎡、塔屋35.42㎡)
④施設内容 ホール(621席)、集会室(180㎡)、会議室(90㎡、45㎡×3)、喫茶室(1F)、談話室(1F)、生涯学習カレッジ事務局(2F県占有)、同映像センター(3F県占有)、各種団体使用(4F行政財産使用許可)、映像センターハイビジョン学習室(5F県占有)
⑤開設 昭和49年7月

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
3 年
令和6年4月1日 ～ 令和9年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

R2	R3	R4	R5	R6
32,896	53,292	69,291	75,657	71,647

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

R2	R3	R4	R5	R6
14,073	20,410	25,820	24,901	24,298

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

R2	R3	R4	R5	R6
28,087	28,087	28,087	28,087	28,087

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

ホールの催事件数は80件で昨年度より16件減少した。イベント業者の興行的催事や各種団体の記念事業等の減少が要因と思われる。一方、会議室は、近隣施設の貸館停止に伴い、利用者数・収入とも増加した。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・501号会議室の床タイルカーペットの一部張替えを実施し、快適で確実な施設環境の向上を図った。
- ・ホール利用者に高度な舞台技術を提供できるよう、舞台音響・舞台照明の技能資格を有する技術者を配置している。
- ・平成22年度から高齢者や体の不自由な方への介助技術やホスピタリティを学んだサービスケアアテンダント資格者を配置し、接客に当たっている。
- ・平成26年度からの利用料金等のクレジットカード・電子マネー決済対応に加え、令和2年度から二次元コード決済に対応し、利便性の向上を図っている。
- ・平成26年度から車で来館する利用者に対し、高志の国文学館と共同で警備員による案内誘導を行っている。
- ・平成30年度にリニューアルしたチケット販売システム「アーツナビ」を活用し、インターネットでの座席指定を含むチケット購入や最寄りのコンビニ（ファミリーマート）でのチケット代金決済・チケット発券サービスを提供している。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・平成26年度から施設のリアルタイムな予約情報をホームページに掲載し、空き日利用の促進に努めている。
- ・イベントガイド、ホームページを活用し、利用料金の割引プランやワンストップサービス（看板、生花の手配等）のより一層の周知を図り、ホール等の利用促進を行っている。
- ・令和2年度に県が整備した有線LAN（情報コンセント）及びデジタル映像配信機器の利用促進のため、インターネット環境の提供、LANケーブル等の貸出を無料で行っている。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年、実施方法：利用時にアンケート用紙を配布
回答者数	回答者数：601人
結果	総合的満足度80.4%（職員の対応や設備・備品、清掃等総じて満足度が高い）
結果を踏まえた改善事項	利用者からは概ね満足の声を頂いており、引き続き利用者サービスの向上に努めてもらいたい。

②その他利用者の声を反映させる取組み

- ・施設利用者や主催する企画事業の運営委員の方々から、直接、施設運営等に関する意見を聴取した。
- ・アンケート調査を実施するとともに、ホームページにご意見箱を設けている。

③主な苦情と対応

- ・利用者駐車場が満車で止められない。
⇒ホームページに満車予想日の情報を掲示するとともに、駐車場に警備員を配置し満車時には近隣の有料駐車場（土日・祝日には、一般開放している県職員仮駐車場）へ誘導した。
- ・無料Wi-Fi機能の充実。
⇒利用者の利便性向上のため、1階ロビー全体にインターネット接続環境の改善を図った。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報保護規程を定め、職員に周知を図り、適切に管理されている。

(6) 関係団体との連携

事業の展開を通して文化の発展や継承に繋がる取り組みを行っている。また、県民カレッジや高志の国文学館との連携事業を行っており、互いに相乗効果のある取り組みとして、利用者や受講生の増加に寄与する事業の展開を行っている。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・ホールの舞台機構・音響・照明設備や館内各種設備の自主点検チェックリストを作成し、日常から職員が安全点検を行うとともに、定期的に専門業者による保守点検を実施している。
- ・非常時のマニュアルや連絡表を作成するとともに、年2回の自衛消防隊による防災訓練を実施している。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	5
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

- ・ホール舞台設備も含め施設の老朽化が進んでおり、早期の改修・修繕が必要なものもあるが、工事が行われるまでの間、施設利用に支障が生じないようにこまめな点検や故障が発生したときの適切な対応に努めてもらいたい。
- ・文化団体等と連携しながら、伝統芸能をはじめとする幅広い分野の芸術文化に触れ合うことのできる事業の充実に取り組んでもらいたい。